



2014年3月期

事業概況

(2013年4月～2014年3月)

日本発、世界に冠たるバイオベンチャーでありたい

- 画期的な新薬・医療技術の開発で人類の健康と福祉に貢献する
- 日本の生命科学技術および産業の活性化に寄与する
- 常に時代の最先端を目指す

会長・社長のご挨拶

株主の皆様には、格別のご配慮とご支援を賜り誠にありがとうございます。
お陰様で、当社の中核である創薬事業の研究開発は順調に推移しております。特に、PC-SOD NE(吸入製剤)の特発性肺線維症治療薬としての開発に関しましては、第Ⅱ相臨床試験の患者エントリーが昨年6月に、製剤投与も12月に終了しました。近い内に結果をご報告出来ると思います。

また、我々が考案した新しい医薬品開発戦略であるドラッグリポジショニング(DR)研究に関しましては、多くの特許を出願しました。また国もDRを進めることを決定し、多くの製薬企業やアカデミアがDRに興味を持ち当社との共同研究も増えています。今後も我々はDRのリーディングカンパニーとして、大手製薬企業や国とも協力して、我が国のDRの発展を推進しています。今後とも株主の皆様のご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



取締役会長

水島 徹



代表取締役社長

大塚 秋夫

株主の皆様には、日頃よりひとたならぬご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

先ず当期の研究開発状況につきましては、一昨年より日韓で実施しておりましたPC-SOD NE(吸入製剤)の第Ⅱ相臨床試験のキーオープンが視野に入って参りました。また、新規パイプラインにPC-SOD NE(吸入製剤)の適応拡大としての慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療薬、DDS技術を使用したステルス型ナノ粒子PGI2製剤の肺高血圧症治療薬、DR研究により見出した抗炎症作用と気管支拡張作用を併せ持つ低分子化合物を使ったCOPD治療薬の3テーマを加えるなど研究開発に取り組んでおります。

次に業績概況につきましては、特許切れによるロイヤリティ収入の低迷により販売費及び一般管理費を賄うことができず、営業損益段階での赤字基調は変わっておりません。前期はこの営業損失を営業外収益でカバーし黒字を確保しましたが、今期は受取配当金の大幅減により営業外収益が大きく落ち込み、経常損益、当期純損益はともに赤字となりました。

当社はこの収支構造からの脱皮を目指して、研究開発を進展させライセンスアウトの早期実現化に向けて努力して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様へ

業績の概要

当事業年度の売上高および売上総利益は85百万円(前期比26.8%増)、78百万円(前期比16.7%増)といずれも増加しました。

販売費及び一般管理費は、「PC-SOD NE」の第Ⅱ相臨床試験関連費用の支出により研究開発費が293百万円(前期比6.9%減)と高水準でしたが、研究開発費以外の販売費及び一般管理費は支払報酬の大幅減少などにより116百万円と前期比で52.4%減少しました。これにより販

売費及び一般管理費合計は410百万円(前期比26.8%減)となり、営業損益は331百万円の損失(前期比32.7%減)となりました。

前期はこの営業損失を営業外収益でカバーしましたが、今期は受取配当金の大幅減があり営業外収益が前期比57.0%減の275百万円と大きく落ち込み、経常損益、当期純損益はともに損失の56百万円(前期は147百万円の利益)、57百万円(前期は116百万円の利益)となりました。

PC-SOD NE(対象疾患:特発性肺線維症)の第Ⅱ相臨床試験製剤投与が終了しました

特発性肺線維症を対象疾患とした「PC-SOD NE」は、前事業年度より継続して第Ⅱ相臨床試験を実施しておりましたが、日本及び韓国での患者様への投与は昨年12月に終了し、現在は最終症例固定に向けての準備作業中です。同作業に

当初予定より多くの時間を要しているため、有効性の評価結果は2014年10月頃の公表見込です。

また、これらの作業と並行してライセンス活動も積極的に進めております。

開発中のパイプライン

自社開発製剤

品目及び対象疾患	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD NE (吸入製剤) 特発性肺線維症	希少疾病用医薬品指定			
PC-SOD NE (吸入製剤) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)				
PC-SOD (注射剤) 特発性肺線維症、潰瘍性大腸炎				
ステルス型ナノ粒子PGE1 慢性動脈硬化、間歇性跛行他				
ステルス型ナノ粒子PGI2 肺動脈性肺高血圧症				
NSAID 炎症性疾患				
癌幹細胞分化誘導剤 癌				
COPD治療薬 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)				

共同開発製剤

品目及び対象疾患	基礎	非臨床	第 I 相	第 II 相
PC-SOD (注射剤) 非開示	北京泰徳製薬			
AS-013 末梢血管病変	北京泰徳製薬			
ステルス型ナノ粒子 非開示	北京泰徳製薬			
ステルス型ナノ粒子 非開示	旭化成ファーマ			

2014年3月期 業績及び財務状況等

2014年3月期 業績

(単位:百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	前期比	
売上高	67	85	(+26.8%)	
研究開発費	315	293	(△6.9%)	(注1)
その他販売管理費	245	116	(△52.4%)	(注2)
営業損失(△)	△493	△331	(-)	
営業外収益	640	275	(△57.0%)	(注3)
当期純利益又は損失(△)	116	△57	(-)	

注1 PC-SOD（吸入製剤）第Ⅱ相臨床試験費用が引続き高水準

注2 支払ロイヤリティの大幅減少

注3 受取配当金の大幅減少（北京泰徳製薬の配当政策の影響で前期の1.5年分から当期は0.5年分に減少）

2015年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

売上高	46
営業損失(△)	△295
当期純利益	53

貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年3月期末	2014年3月期末
流動資産	893	830
うち、現金及び預金	873	821
固定資産	60	62
有形固定資産	3	2
投資その他の資産	57	60
資産合計	954	893
流動負債	22	11
固定負債	8	12
負債合計	31	24
株主資本	921	864
資本金	100	100
資本剰余金	701	701
利益剰余金	120	63
評価・換算差額等	1	4
純資産合計	923	868
負債・純資産合計	954	893

株式情報

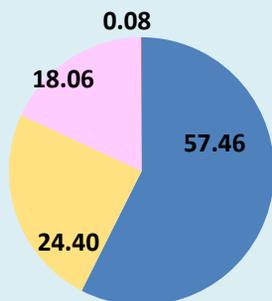
大株主の状況

(2014年3月末現在)

氏名または名称	所有株式数	所有割合
北京泰徳製薬股份有限公司	25,320	19.20%
(株)水島コーポレーション	23,375	17.72%
外国法人	6,500	4.92%
個人	4,044	3.06%
個人	3,515	2.66%
個人	2,651	2.01%
個人	2,535	1.92%
個人	2,354	1.78%
個人	2,200	1.66%
個人	1,670	1.26%

(注)第2位株主・(株)水島コーポレーションの所有株式23,375株は、
2014年5月に一般財団法人水島記念財団へ全株異動しております。

株式の分布状況



株主数 4,657名
発行済株式数 131,868株

- 個人・その他
- 外国法人等
- その他の法人
- 金融商品取引業者

会社概要

コーポレートデータ

名称： 株式会社L T Tバイオファーマ
所在地： 〒105-0022東京都港区海岸一丁目2番20号 汐留ビルディング3階
TEL: 03-5733-7391 F A X : 03-5733-7397
設立： 2003年（平成15年）1月
創業： 1988年（昭和63年）4月（株式会社エルティーティー研究所）
資本金： 1億円

役員及び会計監査人

取締役会長	水島 徹
代表取締役社長	大塚 秋夫
取締役	関根 準三
取締役	大谷 培夫
取締役	謝 炳
取締役	鄭 翔玲
監査役	熊谷 鈴司

会計監査人 東陽監査法人

リレーション

資本・業務提携
研究委託先

北京泰徳製薬股份有限公司
慶応義塾大学
聖マリアンナ医科大学
日本大学



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

株主名簿管理人
特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〈お問合せ〉
0120-232-711
〈各種手続用紙のご請求〉
東京 0120-244-479
大阪 0120-684-479
〈お手続き〉
三菱UFJ信託銀行 本店・各支店

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.ltt.co.jp>
※ただし、電子公告によることができない
事故、その他やむを得ない事由が生じた
ときは、日本経済新聞に公告いたします。
